

河童倶楽部

私たちの道は私たちが作る!

一般社団法人福島県水泳連盟

会長 壺岐ひろみ

「為せば成る、為さねば成らぬ...」ハテ?この後に続く言葉は?と調べてみました!

「成らぬは、人の為さぬなりけり」成程!ここが一番大切な言葉かな...

上杉鷹山が、武田信玄の「為せば成る...、成る業を成らぬと捨つる人の儂さ」と歌ったものを基にしてるとも言われているとありました。

4月の社員総会で、「法人化」後、初の役員改選がありました。三浦理事長と共に、私も再び務めさせて頂く事になりました。改めて、身も心も引き締め、「成る業を、成らぬと捨つる人」にならぬよう、強い意志を持って、前に進まねばと心に刻みま

した。微力な私ひとりでは、何も出来ませんが、皆さまと力を合わせれば、必ず、未来へ続く道が作れると信じています。今年も、沢山のパワーを頂きに全国を歩きます!

パワーと言えば、私たちの「宝物」である選手たちが、あちこちで活躍しております。小学生から、社会人まで...、福島を背負ってキラキラの笑顔で泳いでいます。

JO、日本選手権、ジャパンオープンと、辰巳のブルスタンドで、幸せの感動を沢山もらいました。

泳いでる姿は、とても凛々しく、逞しいです。私たちが、子供たちを育てているのでなく、子供たちに、私たち大人が育ててもらっているのかなと感じました。

「大人」って、大きい人?何が大きいのでしょうか?考えてしまいます。

立派な事でもなくてもいい、小さな事でもいい、私たちの大切な「宝物」たちに、自分の力を使い、少しずつでも前に進む姿を見せたい!

「法人化」の意味は、今まで何度かお伝えしましたが、「誇りを持って、水泳を愛し、広め、公金を正しく有効に使う」事から始めていくと考えます。水泳が大好きな私たちの力を結集し、
「道を作り続けましょう!」



「ジャパンオープン2016」チームふくしま大活躍!!

守永50Ba3位 寺田200Fly4位 安田50Ba6位

* 関連記事3ページ

白河旭高校水泳部

県中水泳連盟 阿久津昇蔵

私は水泳が苦手です。泳げないからです。そんな私が水泳連盟にいるのは、平成十二年に白河旭高校に転勤し、水泳部顧問になったことがきっかけです。

当時の三年生にフライパン王子こと本田よう一君がいて、隣の学校の先生が水泳専門だから分からないことは何でも聞くようにと教えてくれました。

その先生は、「それは県南高体連の三浦誠先生に聞いてください」、「それは県南水泳連盟の渡辺富夫さんにお願いでください」と、一つ一つ丁寧に教えてくださいました。特に、私が年下だとわかってからは一層かわいがってくださいました。

その先生の紹介で県南水泳連盟にも所属し、五十井田さんをはじめ、皆様に大変よくしていただきました。今の私があるのは全て、影山真也先生のおかげです。

学校の部活動でもよい選手に恵まれ、競技面、生活面ともに最高のチームとなりました。



内山和也選手(前列左から2番目)のインターハイ出場を記念して

内山和也君にはインターハイに2回も連れて行ってもらいました。櫻泳SSの佐竹先生のおかげです。そんな白河旭高校水泳部もこの春で事実上の廃部となりました。白河女子高校時代には県大会で6連覇している伝統ある水泳部でした。今この学校でも部活動の維持が困難になっていきます。多くの生徒とそれを支える大人たちが、明るく優しく正しく活動することが水泳部存続の秘訣ですので、皆様ぜひご協力をお願いいたします。

リレーエッセイ

河童道

社員総会 吉岐会長再任

4月24日(日)郡山ユラックス熱海

午前中、理事会、午後に社員総会が行われ、吉岐ひろみ会長・三浦誠理事長・青柳俊宏副理事長の続投が決まりました。



理事、代議員75名が集合
熱心な討議が行われました



県水泳連盟70周年記念式典 開催決定

アネックス郡山 12月3日(日) 祝賀会 18時～



一緒に前へ進もう

よろしくお願いします 新役員のみなさん



頼もしい面々

上左/左から渡部氏、山本氏、蒲田氏
上右/丹野氏、阿久津氏
下左/柳沼氏、星氏

28年度新役員紹介

副会長(県中会長)	山本裕子
高校委員長	蒲田信幸
中学委員長	渡部洋一
オープンウォーター委員長	末永敏則
選手登録委員長	丹野智春
県中地区理事	星 久夫
	阿久津昇蔵
	柳沼利尚
表彰委員長	金澤昭恵

私が指導者を志ざし、中学・高校・大学と大きな壁にぶちあたりながら今も水泳に係る。

昨年他界した恩師、大石徹氏は私が最も尊敬する人である。小学校時代様々なスポーツに取り組んできた私にとつて水泳が一番厳しく楽しくなかった記憶がある。



大石先生から頂いた色紙
逢花打花…その時々
の出会いをそのまま受け
入れて楽しむ

今年度より県中体連専門委員長に就任いたしました。少しでも福島県水泳界に貢献できるよう務めてまいります。選手に「夢と希望と感動」が与えられるような大会運営を行っていきたいと思います。今年度の目標は、昨年度の全国大会・東北大会出場人数を大きく上回り、上位入賞者を多数出すことです。今後とも中体連をよりよく願っています。

私の周りには、多くの仲間がいてくれる。すべて水泳があったから得ることのできた仲間である。一生大切にしたい。このような基礎を小学校時代に築き今まで見守っていただいた恩師に感謝している。

わっているのは、厳しく楽しくはなかった水泳が好きだったからだと思う。正確には好きにさせられたからだと思う。

「私の礎」

福島県中学校体育連盟水泳専門部委員長

渡部 洋一